

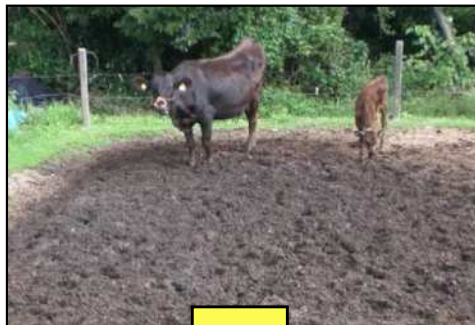
# シラスを利用した自力施工によるパドックの簡易舗装の方法

パドックのぬかるみ解消のため、自力施工によるシラスとセメントを混合した簡易舗装技術を開発

## 背景・目的

- ・畜産農家が黒ボク土やシラス等のパドックを使用する際には、雨水や糞尿などによる表層の泥濘化、牛体の汚れ等が問題
- ・高齢化が進み、労力的に定期的な土砂の入れ替え作業や清掃は困難な状況
- ・透水性や強度があり、安価で自力施工でき、さらに牛に優しいパドックの舗装技術の開発が必要

## 成果の内容



### 簡易しらすセメント舗装技術を確立

- ・県内に広く堆積するシラスとセメントを混ぜ、農業機械で自力施工することで、泥濘化しないパドックが安価に完成
- ・簡易シラスセメント舗装の自力施工マニュアルを作成

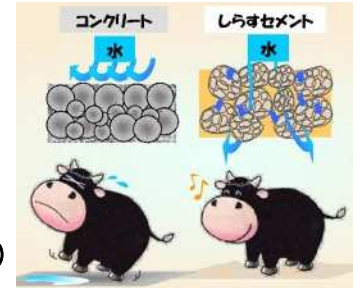


注) 当該施工は、(株)ストーンワークスと鹿児島県が所有する特許第3858070号「軽量シラス基盤及び緑化軽量シラス基盤とその製造方法」に特許に抵触しない範囲で了承を得ており、県内の畜産農家に限定普及するものである。

導入メリット

### ○簡易しらすセメント舗装

- ・表面に凹凸ができ、適度な透水性があるため、牛が滑りにくい
- ・モルタルブロック(5N/mm<sup>2</sup>)と同程度以上の強度があり、定期的な土砂の入れ替え作業が不要
- ・コンクリート舗装の1/3以下の価格で自力施工可能
- ・pHが中性なので、牛の蹄や肌に優しい
- ・黒ボク土やコンクリート舗装と比べ、日中の表面温度は2℃以上低く、朝夕の温度変化も小さく快適



簡易しらすセメント舗装で  
牛にも人にも優しい  
パドック建設が可能に

## 期待される効果

飼養管理の省力化による規模拡大や飼養頭数維持

鹿児島県農業開発総合センター 畜産試験場 企画環境飼料部 企画環境研究室

普及対象・範囲

県内の肉用牛農家、酪農家

(畜舎建設効率化推進事業)